

よしかわ こしがや  
東埼玉道路吉川越谷地区改良工事

工種：ICT土工  
施工数量：約15,000m<sup>3</sup>

○施工者希望Ⅱ型により、ICT土工を実施。起工測量から一連で行うICT活用施工は、当社として3例目であり、道路土工では初の取組みである。

◎地元測量業者により、3D起工及び出来形測量並びに設計データ作成を行い、ICT建機（MCブルドーザー、MGバックホウ、GNSSを用いた盛土の締固め管理システム）はリースにより施工した。



MCによる敷均し

GNSSを用いた締固め管理



MGによる法面仕上げ

- 起工測量に要する日数は、通常10日→実施4日で完了
- 本工事は、点在した箇所盛土する工事であったが、複雑な形状においても施工することができた。
- 元請けとしては、日々の丁張りや測量作業が大幅に軽減され、他の現場管理業務に時間を有効活用することができた。
- 費用対効果については、今後の普及状況によって、さらに改善されていくことを期待

## 現場の声

### 【元請け】

- 情報化機器を取扱うオペが、施工管理業務の一部を担うことになるため、現場の進捗確認及び機器トラブル等の連絡調整が重要になってくる。

### 【下請け】

- 機器の操作は難しくなかった。モニターで施工面を確認できるので、手元作業員との事故がなく作業できる。丁張り待ちや測量ミスによる手戻りがない。

### 【施工】

- 施工規模が大きい現場ほど、ICT活用施工の効果は大きそう。